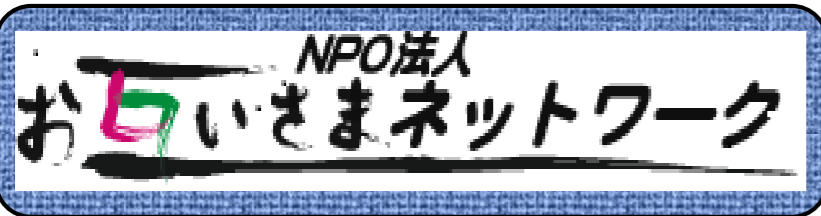


2019年(平成31年)3月25日発行
発行責任者 理事長 恩田初男
〒374-0057
群馬県館林市北成島町1829-5
TEL.0276(70)1326
FAX.0276(70)1327
メール npootagaisama@rhythm.ocn.ne.jp
ホームページhttp://otagaisamaegao.net/



== 理念 ==

人とのつながりを大切にされた福祉活動で、だれもが笑顔で心豊かに生活できる地域社会を目指す法人です。

== 指針 ==

- ① 地域の人から頼られる介護福祉サービスを提供するために成長する。
- ② 地域の人との交流を深め、当法人の専門性や資源を地域に提供する。
- ③ 地域の課題やニーズを発見し地域住民・関係者と連携しながら不足する福祉活動を展開する。



動きやすい
職場づくりに
取り組む
事業所認定
ぐんま介護人材育成宣言

フォーラム「虐待を考えよう」～さまざまな分野から～

NPO法人お互いさまネットワーク主催 (群馬県人権尊重の社会づくり補助事業)

2019年2月19日(火曜日) 午後6時半 館林市文化会館小ホール



コーディネーター 渡辺敏正さん

30団体の後援を
いただき
100名の聴衆と共に
考えました。



パネラー 内山さん 皆川さん 田辺さん

第1部 基調講演

- 1 高齢者・障がい者への虐待
内山社会福祉事務所 内山恵子さん
- 2 DVの理解と支援
女性支援グループいぶき理事長 皆川陽子さん
- 3 児童虐待の現状と特徴
ももの木保育園 園長 田辺純子さん

第2部 ディスカッション

コーディネーター
関東短期大学学長 渡辺敏正さん



さまざまな場面で生じる虐待、これらについて理解を深め発生する要因を考えるフォーラム

このフォーラムのテーマは、1年前から取り上げたいと準備してきました。身近にある切実なテーマであることは分かっていますが、その場面に遭遇した時、どういった態度をとるべきか難しい問題です。今回のフォーラム開催直前にも児童虐待の事件がさまざま報道されました。虐待は児童だけでなく高齢者や障がい者、DV(ドメスティックバイオレンス)などがあります。それらを身近に見る立場の者が集いその特徴を理解して、発生する要因を考える場にしたいと考えました。

高齢者・障がい者を介護する立場にある者の「自分が虐待してしまいそうなどの寄り添い方・かわし方を聴きたかった」という事後のアンケート記載にみるように、発生する要因まで深めることが出来なかった反省はありますが、気づきと適切な対処が必要との共通理解はできたように思います。DVについても、被害者が自分ではそのように自覚していないことも多く、さまざまな悲しすぎる事例を聞き、根が深く解決法など見つかりそうもない・・・と気分が落ち込むこともありましたが、虐待を目にしたときは住民として通報の義務があり、通報者は守られるので、迷わず通報すること。虐待者をせめるより、まずその家族をより良い状況にするための第一歩が「気づいたら通報」であり、住民の義務であることがわかりました。

ケアプラン介護相談の喜楽

～知っておきたい介護保険制度～

ケアマネによる学習コーナー (連載)

<地域包括ケアシステム>って何?

高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けていくことが出来るように、住まい・医療・介護・予防・生活支援を一体的に提供する仕組みです。必要なサービスを提供し、地域に住む高齢者の生活を支えます。

- ・「住まい」生活の基盤。住まいがあること。そしてどのように暮らしていくか相談して決める。
- ・「医療」病気になったら。通院・入院し治療。訪問診療や訪問看護も利用するか相談して決める。
- ・「介護」介護が必要になったら。状態に応じた多様なサービスが利用できるよう相談して決める。
- ・「生活支援介護予防」いつまでも健康で・・・地域とつながり生きがいをもって生活できるよう介護予防活動に参加することなど相談して決める。

<地域包括ケアシステムに必要な4つの「助」>

- ・「自助」住み慣れた地域で生活するために自分で様々なサービスを利用し問題を解決する。
- ・「互助」地域住民やボランティア、家族や知り合いなどが、自発的に互いに助け合う。
- ・「共助」介護保険や医療保険など社会保険によるサービスを使う。
- ・「公助」税金をもとにした生活保護や権利擁護など、市町村が行う社会福祉サービスを受ける。

<まとめると>

お年寄りが元気な街。介護が必要な状態になっても安心して生活できる仕組みがうまく働いている地域。誰かが介護を必要とするとき、病気になって不安なときに住民の誰もが相談窓口を知っていて、4つの基盤それぞれがうまく連携を取りながら高齢者を支えていく地域を作っていこうとしています。

次回のテーマは <協議体って?>

訪問介護



訪問介護の喜楽が始まって、7年になりました。その間136人の方が利用されています。(現利用者45名) 毎日何人かのお宅に訪問しますが、サービス内容もそれぞれ家庭環境もそれぞれです。利用者さんの意向に合わせながらも必要なところは改善し、自宅で快適に生活出来るよういろいろな面で創意工夫しながらサービスを行ってきました。

7年前よりもヘルパー全員が成長しています。今後もたくさんの経験をし、どんどん成長し続けたいと思います。

よってこ松沼

地域の安心の拠点として

71-7000

顔見知りになること=助け合いの第一歩 美味しく食べて楽しい出会い!

500円でバランスのとれた定食が食べられます。

今日のメインはとんかつ

ご飯・味噌汁

小鉢(2つ付くときも) & デザート



オカリナ同好会
メンバー 募集中



毎週金曜日の歌声喫茶
今日の伴奏は大正琴!



5月4日 春のたたら夢市

多々良沼畔いちごファームのそば。さまざまな団体と交流できます。

この春はかき氷を
メインに参加します。



月に一度の誕生会

カフェ

だんだん

出会いと情報の交流拠点

・ポップスピアノ・毎月第3水曜日
ライブ 演奏会 ムジナムジーク



月ごとに交代で
作品展・開催中



館林ケーブルテレビ うらのの
取材を受けました!



営・業・日

月・火・水・木・金
10:00~16:00

土日&営業時間外の貸切可能
自主企画・持ち込み企画
何でもご相談ください。